

武蔵野美術大学 90周年記念

清水多嘉示 資料展

Musashino Art University

90th Anniversary Exhibition

Shimizu Takashi —

石膏原型の全てと戦後資料

(第Ⅲ期)

Plaster Models and

Postwar Documents (Phase III)

2019年

5月20日[月]▼6月16日[日]

武蔵野美術大学美術館 展示室1・展示室2・アトリウム1

時間 10時～18時(土曜日、特別開館日は17時閉館)

休館日 日曜日 ※6月16日[日]は特別開館

入館料 無料

主催 武蔵野美術大学 美術館・図書館

共催 武蔵野美術大学共同研究

「清水多嘉示の美術教育と武蔵野美術学校Ⅱ」

協賛 社団法人権鎮圭記念事業会

協力 八ヶ岳美術館、青山敏子(清水多嘉示遺族)

清水多嘉示資料展

石膏原型の全てと戦後資料(第Ⅲ期)

清水多嘉示は、1897年に長野県諏訪郡原村に生まれ若くして才能を発揮した美術家でした。

本学においては、1929年の帝国美術学校創設に参画し、西洋画科と彫刻科の助教授として教鞭を執り、1962年からは彫刻

学科の主任教授を務めました。そして1969年に退任するまで

現在の彫刻学科における美術教育の基礎を築き、教育者としての情熱あふれる指導は多くの学生に多大な影響を与えました。

一方、わが国を代表する彫刻家として近代彫刻の発展にも貢献し、

1980年には文化功労者に選ばれ、翌年には正四位勲二等瑞宝章を授与されました。清水は、その生涯に

わたってデッサン・水彩画・油彩画・彫刻作品はもとより、写真や書簡類、展覧会カタログ、絵葉書、さらには領収書といった伝票類まで、膨大な資料を遺しています。

本展では、彫刻家・清水多嘉示の制作活動と美術教育を含む広範な社会活動の検証を目的に、渡仏した1923年から没する前年1980年までに制作された石膏原型を中心に、彫刻作品約250点を一堂に展示すると共に、清水が遺した数千点におよぶ1945年以降の戦後期資料の全貌を展覧します。



5



6



4



3



2



1



9



8



7



11



10

- 1:《裸婦(水浴)》1932年
- 2:《みどりのリズム》1951年
- 3:《雄飛》1951年
- 4:《黎明》1958年
- 5:《のびゆく》1960年
- 6:《躍動》1978年
- 7:《帰国直後、自宅の庭にて》1928年
- 8:《第2回日彫展(高島屋)》会場風景 1954年
- 9:《飛躍(デッサン)》1951年頃
- 10:《裸婦(デッサン)》1966年頃
- 11:《清水多嘉示資料展第Ⅲ期》会場風景 2011年

関連イベント

国際カンファレンス：東アジアにおけるブルデル・インパクト

国内外の近代日本美術史と専門の美術教育に関する研究者が参加し、本展をテーマにした国際カンファレンスを開催します。

日時：2019年6月7日[金]→8日[土]

会場：武蔵野美術大学 美術館ホール

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館「国際カンファレンス：東アジアにおけるブルデル・インパクト」企画委員会

助成：公益財団法人 **ポーラ美術振興財団** NOMURA 野村財団
POLA ART FOUNDATION

同時開催

内田あぐり—化身、あるいは残丘

会期：2019年5月20日[月]→6月16日[日]

交通アクセス

■JR中央線国分寺駅から西武バスを利用する場合

JR中央線「国分寺」駅北口徒歩3分「国分寺駅北入口」バス停より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車、「武蔵野美術大学正門」下車(バス所要時間：約20分)

■JR中央線立川駅から立川バスを利用する場合

JR中央線「立川」駅北口(5番乗り場)より「武蔵野美術大学」行に乗車、「武蔵野美術大学」下車(バス所要時間：約25分)

■JR国分寺駅から電車を利用する場合

JR中央線「国分寺」駅で西武国分寺線「東村山」行に乗り換え、「鷹の台」駅下車徒歩約18分

※お車でのご来館はご遠慮ください。

武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

TEL:042-342-6003 FAX:042-342-6451

https://mauml.musabi.ac.jp

